



茨城県水戸市ランド常磐の会
事務局長 石岡 靖夫

1 はじめに

茨城県水戸市で活動している水戸市ランド常磐の会は、今まで先輩が築き上げてきたことを、「これからの」「刻々と変化する」時代のニーズに即応し、その「時代に合せられる組織・運動・行動の体制」を構築することが責務と考えています。各グループは、それぞれがそれぞれの工夫をこらして、「お互いさま」が飛び交うまち、日常の活動のなかでお互いがお互いを思う心を持ち、助け合う心が通い合い、生きがいや安らぎが得られる、“いつも安全で安心するまち常盤をみんなで作る！”ことを目的としています。

2 当会の紹介

- (1) 名称：水戸市ランド常磐の会
- (2) 所在地：水戸市西原1-3-12
- (3) 関連13団体
- (4) 水戸市住みよいまちづくり推進協議会所属



水戸市常磐地区防災対策本部

3 運動・活動状況

- (1) 総会は4月開催
- (2) 水戸市ランド常磐をみんなで作る防災ネットワーク実行委員会を年4回開催
- (3) 水戸市いっせい訓練を毎年2月開催など多数あります。

運動・行動等は、実施計画を策定し、今後の動向を把握して目的・目標を立て、常磐地区民全員が同じ意識をもって、進めていくことを目的・目標に進捗管理を



水戸市ランド常磐をみんなで作る防災ネットワーク実行委員会



水戸市いっせい訓練

します。また、今までの先輩が防災関係に精進して構築した防災体系を基に、更に進化させています。

4 これからの進め方

- (1) まさかの防災発生を想定して、いざという時に備える訓練を実施します。
- (2) まずは知ること。「知らないことは行動できない。知っていることは行動できる。」を実践します。訓練を実施して、参加者に訓練結果の意見を収集し、なだらかに掘り下げて一人でも多くの方に、防災行動を知っていただき、次の訓練に参加できる、皆さま（地区民全員）ファーストの訓練を構築します。
- (3) 茨城県は原子力施設発祥の地です。茨城県内に原子力施設は18あり、日本一多くの施設があります。原子力施設の災害が発生すると、福島の数倍で約88万人の被害が想定されています。また原子力施設から5キロから30キロの圏内にお住まいの方は、約96万人です。そのようなことを踏まえると、原子力に関する教育・放射線対策の周知は、住民と行政と一体となり、取り組むことです。それに自分の身を守るため住民と行政とが、更に一体となって計画・実行する必要があります。
- (4) AED（自動体外式除細動器）は、かなり設置個所が増えています。加えて水戸市内のセブンイレブン全店舗に設置しています。そこで、一人でも多くの方が、先ず操作手順に慣れて緊急時に対応出来る準備が必要

です。

以上に述べたことを踏まえて、いろいろな課題の取組を実施します。

5 常磐地区民全員への周知

- (1) 年2回発刊の広報紙「らんどときわ」上に掲載して、常磐地区の全戸へ配布します。
- (2) 掲示板・連絡ばっくすの利用と、あらゆる打合せ・会議などで周知事項の資料で配布します。そのほか必要の都度、回覧で周知事項を常磐地区の全戸へ配布します。

6 おわりに

平成23年3月11日14時46分東日本大震災が発生し、水戸市において震度6弱という、今までに経験したことない大地震にみまわれました。忘れないうちにつぎのような課題を盛り込んで取り組みます。

- (1) 命の思いやりを意識して防災訓練を行う
- (2) 何ができるか、何をするか、自分の身を守る他に何が出来るかを考える
- (3) 自助共助公助が一体となり地域社会を守る
- (4) 可能性を考えていろいろなシナリオを検討する
- (5) 今出来るベストなのかを考える
- (6) 正常化の偏見「自分は大丈夫」を防ぐ
- (7) 地域の皆さんで助け合う
- (8) 何事もなく本当に良かったといえる活動